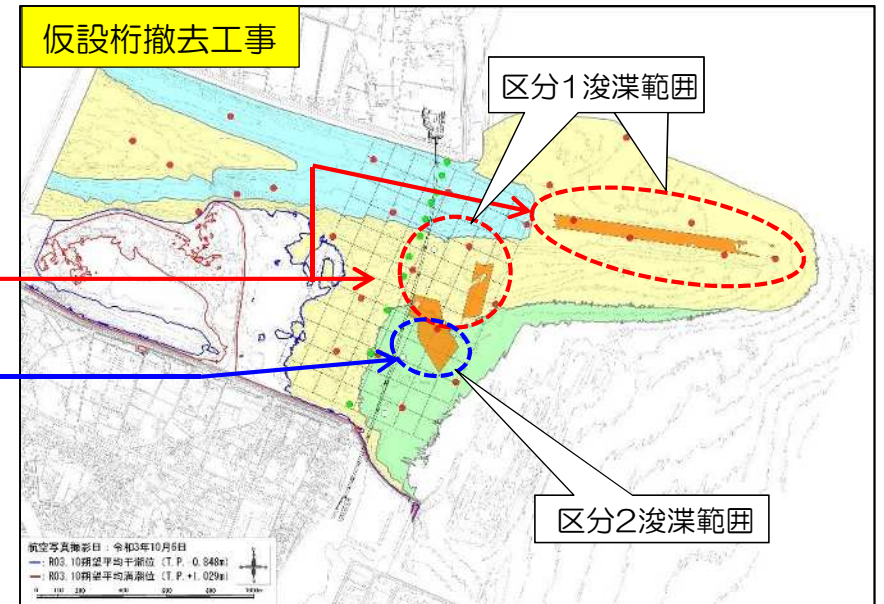
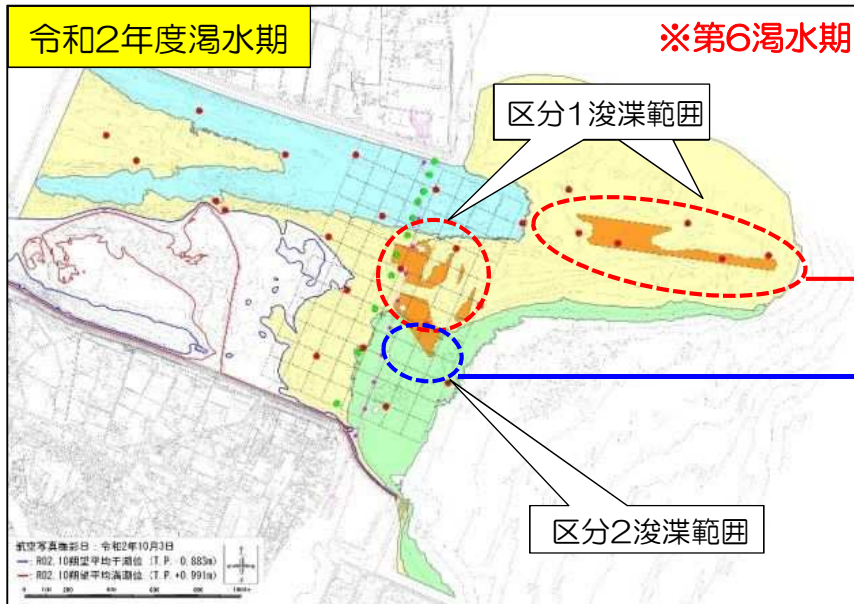


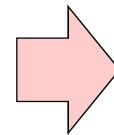
■ 浚渫の影響評価 ～区分1と区分2における影響値の減少について～



仮設桁撤去工事は、令和2年度渇水期と比較して、浚渫面積が区分1は減少、区分2は増加した。そのため、浚渫の影響値が、区分1は減少、区分2は増加する結果となった。区分2の影響値が8.5%とやや高くなっているが、第12回検討会で報告した8.9%よりは小さい結果である。



区分	ハビタット面積 (m ²)	令和2年度渇水期	
		浚渫面積 (m ²)	割合 (%)
区分1	2,084,804	115,555	5.5
区分2	413,871	14,863	3.6
区分3	682,520	0	0.0



区分	ハビタット面積 (m ²)	仮設桁撤去工事	
		浚渫面積 (m ²)	割合 (%)
区分1	1,905,936	77,979	4.1
区分2	391,887	33,255	8.5
区分3	672,243	0	0.0

区分1は前年度渇水期に比べて浚渫面積が減少したため、影響値が減少
 区分2は前年度渇水期に比べて浚渫面積が増加したため、影響値が増加